

行政報告の主な内容（8課15項目）

(1)総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	自衛隊関係について
(2)企画商工観光課	令和2年度ふるさと応援モニター事業の実績について
	地域おこし企業人事業について
	十勝岳ジオパーク構想の取組みについて
(3)町民生活課	町税等の収納状況について
(4)保健福祉課	新型コロナウイルスワクチン接種について
(5)農業振興課	農作物の生育状況について
(6)建設水道課	建設産業安全大会について
	治水砂防関係について
(7)町立病院	介護医療院の増床について
(8)教育振興課	上富良野高校の入学状況について
(9)総務課	新型コロナウイルス感染症にともなう対応について
	建設工事の発注状況について

行政報告

(令和3年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

それでは、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については、昨年度中の定年退職者など15名の欠員に対して、看護師4名、技師1名、一般事務職7名の採用を行い、昨年度当初から3名減の190名による執行体制としたところであります。

今後とも、町民の皆様との協働のまちづくりを進めるため、必要な組織体制の見直しを加えながら、業務の円滑な推進と体制の強化を図り、一層信頼される組織となるよう取り組んで参ります。

次に、国の栄典関係についてであります。4月29日発令の春の叙勲において、地方自治功勞として西村昭教氏が旭日双光章を、消防功勞として古茂田洋三氏が瑞宝単光章を受章され、6月9日に伝達させていただきました。また、同日発令の危険業務従事者叙勲においては防衛功勞として2名が瑞宝双光章、1名の方が瑞宝単光章を受章されたところであります。

また、5月1日発令の高齡者叙勲において、永年にわたり上富良野町議会議員を務められた佐藤政幸氏が、旭日単光章を受章され、6月17日に伝達させていただきました。

改めて、受章された皆様のこれまでのご功績に心から敬意を表し

ますとともに、ますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げるところであります。

(総務課行政報告 [基地調整・危機管理室関係])

次に、自衛隊関係であります。3月23日から24日に富良野地方自衛隊協力会上富良野支部により「上富良野駐屯地現状規模堅持更なる拡充を求める要望」を、防衛省及び関係国会議員に行ってきたところあります。

(企画商工観光課行政報告 [企画政策班関係])

次に、令和2年度のふるさと応援モニター事業の実績についてあります。件数で1万8千171件、金額にして約3億676万円のご寄附があったところあります。モニター商品代金や配送料、取扱委託料など、必要経費の約1億7千890万円を差し引いた金額は約1億2千786万円となり、今後の事業に備えた基金への積立てを行うとともに、事務事業の円滑な遂行に向け、適切に歳出化を図ってまいります。

今後におきましても、本事業を通じ「かみふらのブランド」の知名度、魅力向上を図っていくとともに、自主財源の確保に努めてまいります。

(企画商工観光課行政報告 [地域活性担当関係])

次に、地域おこし企業人事業についてあります。総務省の地域活性化起業人交流プログラムを活用し、株式会社ジパングと4月1日付けで協定を結び、同社より猪狩淳一氏が4月15日に着任いたしました。

今後、泥流地帯の映画制作に向けた取組みはもとより、本町の地

域振興・活性化に向けて、ご活躍を期待しているところであります。

(企画商工観光課行政報告 [ジオパーク推進室関係])

次に、十勝岳ジオパーク構想の取組みについてであります。4月7日に十勝岳ジオパーク推進協議会総会を開催し、本年度の活動方針として、日本ジオパークネットワークへの認定申請を行うことを決定し、4月23日に申請書を提出、5月29日にウェブでの開催となったプレゼンテーション及び質疑応答を行ったところであります。

申請書提出とプレゼンテーションの結果、現地審査を実施する地域として決定をいただいたことから、今夏に予定される現地調査に向け、なお一層の活動推進と準備に努めてまいります。

(町民生活課行政報告 [税務班関係])

次に、町税等の収納状況についてであります。新型コロナウイルス感染症による支援対策として徴収猶予の特例制度等を適用するとともに、納税相談や滞納者に対する督促・差押え等を行い、徴収に努めてまいりました。

これらにより、令和2年度の収納率は、滞納繰越分を含め、町税で前年比1.5%減の97.7%、国保税で0.5%減の98.1%と一定の水準を確保できたところであり、滞納繰越金は、町税で2千423万8千円、国保税で542万5千円となっております。

今後も納期内納税の啓発と収納率の向上に努めてまいります。

(保健福祉課行政報告 [健康推進班関係])

次に、新型コロナウイルスワクチン接種についてであります。医療従事者については4月23日から、高齢者については、先行接

種として高齢者施設入所者等を5月10日から開始し、対象希望者の接種を終えたところであります。

また、6月11日からは一般高齢者の皆様にも接種を開始したところであり、7月21日の接種完了を目途に町立病院はもとより、町内2つの民間医療機関にもご協力を賜り、取り進めているところであります。

なお、64歳以下の方々へのワクチン接種につきましては、その後、7月26日から開始できるよう国・道へのワクチン提供を求めるとともに準備を進めてまいります。

(農業振興課行政報告 [農業振興班関係])

次に、農作物の生育状況についてであります。今春は、雪解けが順調に進んだものの、5月は雨天が続き耕起作業をはじめ、播種・移植など春作業がやや遅れたことから、畑作物につきましては生育に数日程度の遅れが見られるところではありますが、水稻につきましては平年並みに進んでいるところであります。

引き続き、今後の生育状況を注視しつつ、農業関係機関相互の連携を図り、農業者の皆様とともに豊穰の秋が迎えられるよう努めてまいります。

(建設水道課行政報告 [土木建設班関係])

次に、建設産業安全大会についてであります。建設工事の繁忙期を迎えるにあたって、4月27日に建設業協会と商工会工業部会の共催により、感染症対策として、参加者を例年の半数程度の建設事業従事者約80名とし、公民館を会場に開催されました。

大会では、交通事故や労働災害の防止を参加者全員で確認し、無事故を誓ったところあります。

次に、治水砂防関係についてであります。4月20日に、北海道治水砂防海岸事業促進同盟及び北海道防災協会の通常総会に出席し、砂防事業の拡充及び促進に向けた活動の推進を確認したところであり、

(町立病院行政報告)

次に、町立病院に併設し運営しております介護医療院についてあります。更に医療ニーズの高い高齢者の増加が見込まれることから、空床となっている一般病床を介護医療院に転換することで、ニーズに応えるとともに、病院全体の病床稼働率の向上を図り、経営改善につなげるよう、6月1日から一般病床5床を減少し39床に、介護医療院4床を増床し32床に変更を図り、運営をしているところであり、

(教育振興課行政報告 [学校教育班関係])

次に、上富良野高校への入学状況についてであります。今春の新入学者数は、地元の中学卒業生15名を含む31名となり、全校生徒数は、76名となったところであり、

また、特色ある学校づくりの一環として、昨年度から導入した「学校給食」については、全校生徒76名中60名の生徒が利用されており、高い評価を頂いているところであり、

今後とも、入学者の確保に向け、魅力ある学校づくりの支援に努めてまいります。

(総務課行政報告 [新型コロナウイルス感染症関係])

次に、新型コロナウイルス感染症にともなう対応についてあります。5月16日から北海道が国による緊急事態宣言の対象地域

として発令されたことから、直ちに対策本部会議を開催し、5月17日より町内の公共施設について利用を休止させていただいたところではありますが、6月20日での宣言解除を受けて、利用時における感染防止策の徹底について、ご協力をお願いしながら利用を再開したところでもあります。

また、6月13日建設水道課職員1名の新型コロナウイルス感染を確認したことから、同日中に役場庁舎全体の消毒作業を行うとともに、同課全職員の検査をすることとしたため、翌14日より同課業務を一時閉鎖としたところでもあります。

検査の結果、新たに職員1名の感染が確認されましたが、それ以外の全職員は陰性が確認できたことから、16日より同課業務を再開したところでもあります。

町民の皆様には、ご心配とご不便をおかけすることとなり、お詫び申し上げますとともに、全職員に対しまして、改めて感染症対策の徹底について指示したところでもあります。

次に、コロナ禍における生活支援・地域経済支援対策に関する、主な支援策の状況ではありますが、まず、国民健康保険税及び介護保険料の減免につきましては、5月末現在、今年度の減免申請の受付はありません。

また、固定資産税の減免につきましては、事業収入が減少した中小事業者に係る令和3年度分の事業用の家屋、償却資産に対して実施しているところでもあります。

次に、緊急経済対策の関係では、昨年4月に創設し、融資の取扱期間を本年9月末までに延長しました町独自のつなぎ融資については、今年度に入り、新たに2件増加し、5月末現在、融資総件数5

2件、融資総額で1億3千420万円となっております。

次に、感染症の長期化により厳しい経営状況が続いている町内中小企業者に対し行いました、経営継続奨励助成事業（第2期）については、4月末日に交付手続きが終了し、申請件数138件、交付額2千940万円となったところであります。

次に、第2回臨時会においてご議決いただいた中小企業再構築支援事業につきましては、5月17日から事業周知及び申請の受付を開始し、現在まで多くのご相談を受けており、今後は速やかな事業計画の認定などに努めてまいります。

また、当初5月中旬からの実施を予定しておりました道民対象の誘客支援事業・宿泊キャンペーンにつきましては、北海道が緊急事態宣言の発令地域となったことから、事業開始を見合わせておりましたが、宣言解除を受けて、観光協会と早期開始に向けて検討してまいります。

同じく、第2回臨時会においてご議決いただいた町独自の新生児特別定額給付金事業につきましては、4月28日時点で既に出生届をされていた世帯に対し申請案内を行うとともに、以降は窓口での手続きの際に、申請案内を行っており、6月22日現在、8人分の支給を完了しているところであります。

次に、学校現場におきましては、衛生管理マニュアルに基づく感染予防対策を徹底するとともに、運動会や体育大会の延期、また、部活動については、全国・全道大会につながる活動以外の自粛を行うなど対応したところであります。

(総務課行政報告 [財政管理班関係])

最後に、建設工事の発注状況についてであります。本年度、入札執行した建設工事は、6月10日現在、件数で8件、事業費総額で1億3千543万2千円となっております。

また、本年度発注予定の建設工事は40件で、その情報については4月1日付で公表したところであります。

なお、お手元に「令和3年度建設工事発注状況」を配布しておりますので、後程ご高覧いただきたく存じます。